

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 16 日 (2006.3.16)

【公開番号】特開 2002-186969 (P2002-186969A)

【公開日】平成 14 年 7 月 2 日 (2002.7.2)

【出願番号】特願 2000-384641 (P2000-384641)

【国際特許分類】

C 0 2 F 1/46 (2006.01)

A 0 1 G 31/00 (2006.01)

C 0 2 F 1/50 (2006.01)

C 0 2 F 1/78 (2006.01)

【F I】

C 0 2 F 1/46 A

A 0 1 G 31/00 6 0 1 A

C 0 2 F 1/50 5 3 1 R

C 0 2 F 1/50 5 4 0 B

C 0 2 F 1/50 5 5 0 D

C 0 2 F 1/50 5 6 0 F

C 0 2 F 1/78

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 27 日 (2006.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 液体から電解水を生成する電解水生成装置であって、
 電解槽と、
 前記電解槽内に配置された第一電極板と、
 前記第一電極板に対面して前記電解槽内に配置された第二電極板と、
 前記第一電極板と前記第二電極板との間に電位差が生ずるように、両電極板に直流電圧を印加するための直流電源と、
前記第一電極板と前記第二電極板とが互いに近接していることで両電極板の間に当該電極板に沿って形成された流路と、
電位差を持つ前記両電極板の間に形成された前記流路に液体を圧送する導入部と、
 前記電解槽内で生成された電解水を前記電解槽内から導出する導出部とを備え、
前記両電極板には、各々、前記流体および該流体から生成された酸素分子を前記両電極板の間の前記流路から外方へ導出するための貫通孔が複数設けられている電解水生成装置
 。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記第一電極板と前記第二電極板とが 0 . 5 m m ~ 3 . 0 m m の範囲で互いに近接している電解水生成装置。